

福祉的就労から雇用への移行促進 (地域障害者就労支援事業)

障害者の地域における自立を支援する観点から、福祉施設等を利用する障害者の雇用への移行促進を図るため、ハローワークが中心となり、地域の関係機関が緊密に連携・協力して、福祉的就労から一般雇用への移行を強力に支援する事業を、平成17年度から全国10か所のハローワークで実施しています。

事業の概要

地域障害者就労支援チームによる支援

福祉施設等を利用する障害者のうち就職を希望する者を対象に、ハローワークが中心となって当該福祉施設等をはじめとする地域の支援関係者からなる「障害者就労支援チーム」を設置し、就職に向けた準備から職場定着までの一連の支援を行います。

福祉施設等での訓練（作業）と事業所での実習を組み合わせた就労支援の実施

就職及び職業生活に対する不安の解消及び職業準備性の向上を図るため、福祉施設等において訓練（作業）に従事している障害者に、福祉施設等における訓練（作業）を継続させつつ、週1～3日程度、事業所における実習を行います。

